

令和2年度宮崎科学技術館事業計画書

基本方針

宮崎科学技術館は、宮崎市制60周年記念事業として、明日を担う子どもたちに「科学する心」と「創造性」を培う場を提供するために開設された施設である。昭和62年8月の開館以来、一貫して充実した施設・設備を活用した管理運営に努めてきた。特に近年、利用者は幼児から高齢者までの幅広く、障がいのある方の利用も増えていることから、利用者の多様なニーズを踏まえた、満足度の高い管理運営に努めている。今後さらに市民から信頼されるよう、次の3つの基本方針のもと、継続的・発展的な管理運営を行っていく。

〈基本方針1〉科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図り、未来を担う子どもたちの「科学する心」と「創造性」を培うとともに、あらゆる世代に科学を楽しく体験する機会と場を提供する。

〈基本方針2〉地域の関係機関・団体・ボランティアと連携・協働し、利用者のニーズに応じた満足度の高いサービスの提供を通して地域づくりに寄与する。

〈基本方針3〉科学の普遍性と革新性を踏まえた魅力ある事業を展開するために、全職員が教育的な目的や効果を意識した事業運営を行うとともに、的確な経営感覚による施設運営を行う。

事業概要

1 常設展示事業

常に展示物の安全管理と安定的稼働を念頭に置き、利用者が体験を通して科学の原理原則を発見・体得できるような展示配置や解説に努める。

2 教室事業

科学実験や工作、パソコン、天文等各種教室を実施し、利用者の科学への興味・関心を高めるとともに、市民ニーズに対応した事業展開に努める。

3 プラネタリウム事業

全天周の投射システムによる幅広い年齢層に応じた番組や小・中学校の学習番組の投射に加え、絵本の読み聞かせや各種コンサートの実施など、世界最大級の大きさを誇るプラネタリウムを活用した事業展開に努める。

4 イベント事業

当館の設置目的に沿った各種イベントの一層の充実を図り、科学に親しむ機会や環境問題、エネルギー問題などを身近に感じてもらう機会の創出・提供に努める。

5 人的ネットワークの一層の連携強化による事業展開

小・中学校、高校、大学、企業や教育ボランティアJSC(ジョイフル・サイエンス・クラブ)などの関係団体との更なる連携強化による一層の事業展開に努める。

6 その他

宮崎市の教育施設との連携による新規事業や、多様なメディアを活用した情報提供、友の会への勧誘などを通して、施設の有効活用や利用者拡大に努める。

1 常設展示事業

来館者が、約100点の常設展示物による遊びや体験を通して、科学の不思議に気づき、体得できるように努める。また、ワークシート等で展示解説の充実を図る。

2 教室事業

(1) 科学実験・工作教室

幼児、小・中学生を中心に、多様な入館者を対象とした科学実験や工作等の教室を実施する。

No.	教 室 名	対 象	回 数	定 員
1	チャレンジサイエンス	入館者	30回	なし
2	JSC不思議なサイエンスショー	入館者	10回	なし
3	なんでもサイエンス ※スペシャルサイエンスショー2回を含む	入館者	20回	なし
4	ダ・ヴィンチ工房	小4～中3	6回	各20人
5	自由研究サポート教室	小・中学生	2回	20人
6	生きがい科学館	一 般	8回	各20人
7	科学技術週間工作教室	入館者	10回	各20人
8	宮崎少年少女発明クラブ	小4～中3	20回	30人
9	コスモランド教室	園児	12回	各240人
10	コスモランドサイエンスラボ	小学生	随時	なし
11	サイエンス親子学習教室	親子（小5）	2回	各15組
12	ちょこっと工作（アウトリーチ）	親子	随時	なし

(2) パソコン教室

小・中学生から一般を対象に、パソコンに対する興味・関心を高め、パソコンの基本操作やインターネット、プログラミングなどを体験する教室を実施する。

No.	教 室 名	対 象	回 数	定員
1	すいすいパソコン	幼児～一般	14回	なし
2	プログラミング体験	幼児～一般	12回	なし

(3) 天文教室

幼児から一般を対象に、プラネタリウムホールを活用した、星座の学習や星座にまつわる楽しい神話等の解説を通して、天文に関する知識の普及を行い、興味・関心を高める。

No.	教 室 名	対 象	回 数	定 員
1	星空教室	幼児～一般	11回	各80人
2	スターウォッチング教室（アウトリーチ）	団 体	5回	各30～150人程度
3	おはよう月の観望会	幼児～一般	3回	なし
4	部分日食観察会	幼児～一般	1回	なし

(4) プラネタリウム学習教室

プラネタリウムホールで、小学4、6年生、中学3年生を対象に、学校で学習する天体運動の学習を補充、深化できるような授業を行う。さらに、天文分野の学習に困難を感じている子

どもたちへの理解を深める機会とし、天文に関する興味・関心を高め、知識の普及を行う。

No.	教室名	対象	回数	定員
1	プラネタリウム親子学習教室①	小学4年生	2回	約240人
2	プラネタリウム親子学習教室②	小学6年生	2回	約240人
3	プラネタリウム親子学習教室③	中学3年生	1回	約240人

3 プラネタリウム事業

星や星座、天体現象に関する解説を行い、各種番組を充実させることで、天文・宇宙科学に対する認識を深めてもらうとともに、宇宙への夢とロマンを提供する。

また、全天周投映システムによる各種コンサート等の演出を工夫することで、世界最大級の大きさを誇るプラネタリウムホールの有効活用を図る。

(1) 番組投映

① 学習番組

対象区分	番組名
幼児	「オズのまほうつかい」(永)「ピーターパン」(永)
小学生	「スタジオ444」(永) [小4] 「ポワンとフーニャンの宇宙調査隊」(永) [小6]
中学生	「この空に願いをこめて…」(永) [中3]
一般	「DARK」(永)「宇宙への旅」(永)

② 一般番組

対象区分	番組名
ファミリー	「新番組①」「新番組②」「忍たま乱太郎2」「えんとつ町のプペル」「こぐま座のティオ」「DARK」(永)「宇宙への旅」(永)「宇宙のエネルギー」(永)「太陽」(永)「アマテラス」(永)「星になったチロ」(永)「今夜、銀河の片隅で」(永)「むしむし星空大行進」(永)「ピーターパン」(永)

※(永)＝永久投映権を有する番組

③ 自主制作番組

「ひむか神話 ～太陽の女神・アマテラス～」

(2) コンサート

コンサート名	対象	実施時期
みんなでキラキラ	(こどもの日スペシャル)	5月2日(土)
星空コンサート	(クリスマススペシャル)	12月19日(土)
星空と音楽の夕べ	(Part120)	7月4日(土)
	(Part121)	9月19日(土)

(3) その他

イベント名		内 容	実施時期
星空さんぽ in プラネタリウム		星座等の世界に浸れる 50 分間の星空生解説を行う。解説後はミニ観望会を行う。	不定期 【3 回】
キッズウィーク	えほんの読み聞かせ in プラネタリウム	ドームに絵本を大きく投映し、ボランティアの朗読とともに絵本の読み聞かせを行う。	原則奇数月 第 2 水曜 【6 回】
	新生 キッズアワー	プラネタリウムホールを明るめに設定し、幼児向けの星空解説をライブ解説と映像を合わせて行う。また、幼児向けの番組投映を行う。	6 月、10 月、12 月、2 月 第 2 水・土・日曜

4 イベント事業

あらゆる世代を対象に、科学に関する興味・関心を高めるイベントや環境問題など、社会の変化に対応した身近なテーマを取り上げた各種イベントを主催や共催により行う。

(1) 主催事業

No.	イベント名	内 容	実施時期
1	サイエンスカフェ	科学的な知識や情報を持つ市民を育成するために、科学の専門家と市民が集える機会を設け、科学の有用性を周知する。また、中心市街地活性化にも寄与するイベントの実施を行う。	通年 【3 回】
2	スターウォッチング in まちなか	市民の天文分野の普及啓発のため、館外での天体観望会を市街地や郊外で実施する。	通年 【4 回】
3	星空観察プロジェクト（星空継続観察）	環境省が行う「星空観察プロジェクト」に参画し、屋外での星空調査および天体観望会を行う。	通年 【2 回】 8 月、1 月実施予定
4	ゴールデンウィーク イベント こどもの日 <u>無料開放日</u>	鯉のぼりを正面玄関付近に設置するとともに、サイエンスショーや工作教室等を実施する。多くの子どもたちに科学に親しんでもらうために、こどもの日は施設を無料開放とする。	4 月 30 日（土） ～5 月 6 日（水）
5	第 12 回 地球を守ろう！ 環境展	環境問題を解決するための科学技術に関する展示会や実験教室等を実施することにより、環境問題への関心を高め、科学技術への理解を深める。	5 月 31 日（日） ～6 月 21 日（日）

6	環境問題を極地から考える！南極パネル展 南極の氷贈呈式&実験ショー	国立極地研究所の協力により南極の氷を贈呈してもらい、自然環境を考える機会にする。南極を紹介したパネル展示や、南極の氷を使った簡単な実験をする。	6月30日（火） ～7月12日（日） 贈呈式・実験ショー 7月4日（土）
7	【新規】 来館者500万人記念イベント	令和2年5～6月頃に、開館から累計500万人の入館者を迎えることが見込まれる。500万人達成を記念し、式典を催し、記念品の配布や各種イベントを行う。	未定
8	見てみよう！科学技術映像祭	館内イベントや夏休み期間に併せて、科学技術映像祭の入選作品を上映することで、イベントの内容充実や来館者の科学への興味関心を高める。	7月21日（火） ～8月30日（日）
9	「命の科学」フェア 医学体験 「なるほど！なっとく！人体の科学」	「医療」の面から、「命」について科学的、体験的に考えることができる場を提供する。「医学体験」を通して、自分の体を知り、健康への意識を高める。また、心肺蘇生法など、救急医療体験から意識の高揚及び、その啓発を図る。	7月19日（日）
10	青少年のための科学の祭典2020宮崎大会	科学や科学技術の不思議さや楽しさを体験できる実験ブースを多数用意し、体験を通して科学に対する興味・関心を深める。 ※プラネタリウムを除いて入館無料	8月 8日（土） ～ 9日（日）
11	博学連携推進事業 教員のための博物館の日	県内博物館等と連携し、教員を対象に、博学連携の取組について周知していく。	8月6日（木）
12	スターフェスティバル プレイベント&スターフェスティバル	市民の天文分野の普及啓発のため、星の写真パネルの展示などを行う。期間中に講演やワークショップ、観望会等を実施する。	プレイベント 7月18日（土） ～8月10日（月） メインイベント 8月12日（水） ～27日（木）
13	第12回 JSCフェスティバル	科学技術館シルバーdays にあわせて、JSCの活動を写真・作品展示で紹介し、実験ショーを同時に行う。	9月19日（土） ～21日（月・祝）
14	【新規】 敬老の日 <u>無料開放日</u>	高齢者と家族が楽しく過ごす場を提供するために、全館入館無料でプラネタリウムの投映や工作教室等を実施する。	9月21日（月・祝）

15	「名月展」 中秋の名月大観望会	市民の天文分野の普及啓発のため、 中秋の名月にあわせて、観望会と月の 魅力を紹介するパネル展を行う。	9月25日(金) ～10月11日(日) 観望会 10月 1日(木)
16	ナイトミュージアム	夜間を効果的に使った演出とプログラ ムを準備し、科学館の面白さの再発 見と、科学現象や科学技術に対する興 味・関心を深める機会にする。	10月24日(土) 10月31日(土)
17	2020年度 宇宙画作品展	県内の小中学校から宇宙に関するテ ーマにそった絵画を募集し、その入選 作品を展示する。最優秀賞を受賞した 作品は全国の作品展に出展する。銅賞 以上の受賞者の表彰式を行う。	11月20日(金) ～12月13日(日) 表彰式 12月 6日(日)
18	【新規】 科学技術企画展	様々な角度から科学の楽しさや不思 議さに迫る企画展を実施することで、 科学に対する興味・関心を高める機会 にする。	2月27日(土) ～3月28日(日)
19	【新規】 科学実験教室	学校教育に生かすため、現職の教職 員向けに、授業で使える実験講座を開 設する。	通年
20	各種団体助成事業	助成団体：宮崎少年少女発明クラブ 小・中学生に創作活動の場を提供し、 科学的な興味・関心を高めるとともに、 ものづくりの喜びを体得させる。	通年 【20回】
		助成団体：JSC(ジョイフル・サイエンス・クラブ) 当館で実施する各種イベントやサイ エンスショーなどに協力し、科学する 青少年の育成及び生涯学習に寄与する ことを目的とする団体である。	随時

(2) 共催事業

No.	イベント名	内 容	実施時期
1	航空教室 (航空大学校主催)	小・中学生を対象に、空を飛ぶこ とについての正しい知識を持って もらうことを通して、航空思想の普 及啓発を図る。	7月25日(土) 2月 6日(土) 【2回】
2	宮崎地区サイエンス コンクール展 (みやざきサイエンティスト育成 推進事業実行委員会主催)	宮崎地区(1市2町)の小・中学 生、高校生の理科の自由研究に関す る作品展を行うことを通して、科学 技術への興味・関心を高める。	8月29日(土) ～9月 6日(日)

3	宮崎県発明くふう展 (宮崎県発明協会主催)	創造力に富む人材の育成と発明の奨励を図るとともに、その実用化を促進し、科学技術に対する意識の高揚と本県工業の発展に寄与する。	10月16日(金) ～18日(日)
4	宮崎市中学校毛筆展 (宮崎市中学校書写部会主催)	宮崎市の中学生による毛筆の作品を展示し、中学生や関係者の科学館利用を図る。	11月3日(火) ～11月〇日(○) ※現在調整中のため未定
5	宮崎市中学校硬筆展 (宮崎市中学校書写部会主催)	宮崎市の中学生による硬筆の作品を展示し、中学生や関係者の科学館利用を図る。	1月13日(水) ～24日(日)

5 人的ネットワークの一層の連携強化による事業展開

- (1) 小・中学校、高校、大学、企業との連携を通して、展示事業や各種イベント等の充実と、相互補完体制を築き、子どもたちの「科学する心」や「創造性」を育むよう努める。
- (2) 「JSC(ジョイフル・サイエンス・クラブ)」との連携を通して、教室事業等の一層の充実を図るとともに、アウトリーチ活動を積極的に展開する。
- (3) 天文愛好者との連携による天文教室や天体観望会、世界最大級のプラネタリウムの積極的な活用による各種コンサートの開催等を通じて市民の天文科学への興味・関心を高める。
- (4) 宮崎科学技術館運営ボランティア、宮崎大学(各工作教室開催日における教育研修生の派遣等)との連携により、来館者への案内サービスの向上に努める。

6 その他

- (1) 広報の充実
ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスを活用し広報の充実に努める。
- (2) 売店事業の円滑な運営
来館者へのサービス向上を図るため、売店の円滑な運営・充実に努める。
- (3) 他館との連携
協会が管理する他施設との連携により、イベントにあわせた天体観望会を実施する。

令和２年度宮崎市歴史資料館事業計画書

基本方針

生目の杜遊古館は、考古、歴史、民俗等に関する資料の収集、保管、展示のほか、子どもたちや市民に郷土の考古、歴史、伝統文化等に接する機会と場所を提供するため、平成２１年に生目に建設された。また、宮崎市佐土原歴史資料館は鶴松館（H. 5年開館）・佐土原出土文化財管理センター（H. 7年開館）・商家資料館「旧阪本家」（H. 13年開館）から成り、佐土原地区の歴史や文化等を紹介するとともに、資料の保管・研究のために建設された。宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館は、平成５年に高岡地区の桜の名所、天ヶ城公園に建設され、高岡地域の文化遺産（歴史・考古・民俗）を保管・展示している。

平成２９年度から佐土原歴史資料館と天ヶ城歴史民俗資料館の開館日は限定されたが、引き続き生目の杜遊古館への事務等の集約と職員相互の連携を円滑に行い、充実した施設運営を目指す。

また、令和元年度で閉館したみやざき歴史文化館で培った経験を十分に活かしながら、生目の杜遊古館の新しい機能を大いに活用して、来館者の方々に心から喜んでいただける施設運営に心がけたい。

そこで、「宮崎市歴史資料館３館」として、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するために事業を展開していき、管理運営の基本方針を次の３つとする。

- 〈基本方針１〉宮崎の考古、歴史、民俗等に関する調査及び研究、展示、講座などをおおして、ふるさとのあゆみについての興味・関心を高め、郷土愛を育む。

〈基本方針２〉地域の関係機関・団体と連携し、歴史文化の拠点施設として、地域資源の調査・研究並びに活用・発信をおおして地域づくりに寄与する。

〈基本方針３〉コスト管理に基づいた効率的な施設運営をより一層推進する。

事業概要

１ 展示事業

常設展示では、各館の歴史的背景、地域の特色等を踏まえ、展示物の入れ替えや、解説方法を工夫し、利用者が宮崎の考古・歴史、民俗・民俗芸能等を楽しく学習する場を提供する。また、企画展示では、地域特性も考慮しながら、その年度に応じた収蔵資料を公開する。また様々な年齢層に興味を持っていただく内容の特別展を企画する。

２ 講座・体験学習事業

専門家による古文書講座や歴史文化講座、学芸員による歴史探訪、学習指導員等による各種体験学習など幅広く学べる内容とする。

３ イベント事業

こどもの日イベントをはじめとして、季節や地域の伝統を取り入れ利用者ニーズを踏まえたイベントを実施する。

４ 授業支援・出前講座事業

各学校に出向き、収蔵する昔の道具を活用した小学校社会科の授業の支援や、回想法の趣旨を踏まえた講座、粉ひき体験などの出前講座を、年間を通じて実施する。

５ その他

ホームページやSNS等を活用した情報発信、年報・研究紀要による各種事業の普及広報活動の充実を図る。

【生目の杜遊古館】

1 展示事業

(1) 常設展示

宮崎の考古・歴史、民俗・民俗芸能の世界に関する資料を展示し、見て、触れて、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

宮崎の歴史・文化に関連する資料を収集、調査研究し、企画展示室を利用して展示する。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	企画展① 「顔・かお・カオ展」	子ども向けの展示として顔にまつわる資料や「地域の顔（代表）」として宮崎の先人達を紹介する。	令和2年10月 ～12月
2	企画展② 「文化人が歩いた宮崎」	近世から近代にかけて宮崎を訪れた文化人などを通して当時の歴史的背景とともに宮崎市に残る足跡を紹介する。	令和3年1月 ～3月

2 講座事業

No.	講 座 名	内 容	回数	定 員
1	歴史文化講座	主に宮崎の考古・歴史事象や歴史上の人物を取り扱った内容、民俗・民俗芸能に関する内容の講座を開講する。	6回	各50人
2	古文書講座	初心者を対象として、古文書愛好者を増やす目的で基礎講座を開催する。	5回	各50人
3	歴史探訪	宮崎市域にある史跡や文化財を訪ね見学する。 11月14日（土）、12月12日（土） 2月20日（土）、3月13日（土）	4回	各20人

3 体験学習事業

昔の人々の暮らしと関連した製作体験学習を実施する。体験学習講座の意義をひとつの文化の伝承であると捉え実施する。

また、団体利用や個人・家族など少人数利用についても、創作活動等の体験学習を通じて青少年の心身の健全な育成を図れるよう、利用する方々の目的を達成できるような体験活動プログラムを企画して利用者へ提供する。

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	実施時期
1	勾玉づくり	勾玉をつくる。	1回	子どもと保護者 80人	5月17日（日）
2	竹馬づくり	竹馬をつくる。	1回	小学生以上の子どもと保護者 30人	5月24日（日）

3	古代米を使ったお菓子づくり	古代米を使っておいしいお菓子をつくる。	1回	子どもと保護者 30人	6月 7日（日）
4	竹とんぼづくり	竹を使って竹とんぼをつくる。	2回	子どもと保護者 40人	6月21日（日） 10月11日（日）
5	石臼体験	石臼を使って、粉ひきを体験する。	2回	子どもと保護者 30人	7月12日（日） 2月 7日（日）
6	けん玉づくり	竹でけん玉を作って遊ぶ。	1回	子どもと保護者 30人	9月13日（日）
7	草木染めづくり	旬の草花で作った染色液を使って染め物をつくる。	1回	子どもと保護者 30人	9月20日（日）
8	いにしえの鏡づくり	合金を溶かして、古代の鏡をつくる。	1回	子どもと保護者 30人	10月18日（日）
9	古代米でケーキづくり	古代米を使ってケーキをつくる。	1回	子どもと保護者 30人	10月25日（日）
10	ミニ埴輪づくり	ミニ埴輪をつくる。	1回	子どもと保護者 30人	11月15日（日）
11	リースづくり	自然素材で、クリスマスにぴったりのリースをつくる。	1回	子どもと保護者 20人	11月29日（日）
12	ミニクリスマスツリーづくり	松ぼっくりを使って、クリスマスツリーをつくる。	1回	子どもと保護者 30人	12月13日（日）
13	ミニ門松づくり	正月用のミニ門松をつくる。	1回	子どもと保護者・一般30人	12月20日（日）
14	古代織でコースターづくり	古代の織り方でコースターをつくる。	1回	子どもと保護者 30人	1月24日（日）
15	古代米でぜんざいと雛あられづくり	古代米を使って、雛あられとぜんざいをつくる。	1回	子どもと保護者 30人	2月28日（日）
16	古代米を使ったパンづくり	古代米を使ったパン生地をダッチオーブンで焼き上げる。	1回	子どもと保護者 30人	3月14日（日）

4 イベント事業

イベント名	内 容	実施時期
こどもの日イベント	5月3日～5日の3日間に、鎧・兜の試着、野点、ウォークラリー、紙兜作り、うぐいす笛づくり等を行う。	5月 3日(日・祝) ～5月 5日(火・祝)
夏休みイベント 「史跡公園生き物採集教室」	生目古墳群史跡公園をめぐりながら昆虫などの生き物を採集し、大淀川学習館の講師とともに学習する。	7月19日(日)

5 授業支援・出前講座事業

施設に収蔵している昔の道具を活用し、小学校の社会科における「変わってきた人々の暮らし」の授業の支援として各学校に出向き、学習の充実に資することや、地域での歴史講座や竹細工作りなどの出前講座を、年間を通じて実施する。

6 回想法による福祉連携推進事業

福祉分野や地域との連携推進を目的に、地域の方々から寄贈された昔の生活用品等を用いた「回想法貸し出しセット」を活用し、福祉施設を対象にしたセット貸し出しや、関係団体との連携を図る。

7 その他

(1) 資料収集・調査研究

歴史資料や文化財の写真収集・調査研究を行い、資料の充実を図る。

(2) 資料の保存・保管

日常的に虫菌害対策を行い、薬害等のリスクの高い薬剤燻蒸の規模の縮小を図る。

併せて24時間の温湿度管理を行い、記録データを常に監視しながら歴史資料の展示に適した環境作りに努める。

(3) 他館との連携

協会の各館事業と積極的な連携・協力を図るとともに、歴史3館での横断的かつ効果的な業務の推進を図る。

(4) 年報・研究紀要の発行

生目の杜遊古館・宮崎市佐土原歴史資料館・宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館の令和2年度事業概要及び、調査研究成果をまとめた「宮崎市歴史資料館年報及び研究紀要」を発行する。

(5) 広報の充実

館の行事案内やホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービス、市広報の「遊・学・感」ページなどを有効活用し、来館者増に努める。

【宮崎市佐土原歴史資料館】

1 展示事業

(1) 常設展示

佐土原地域の考古・歴史（特に佐土原藩の歴史）民俗・民俗芸能に関する資料を展示し、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

佐土原地域の歴史・文化・民俗に関連する資料を収集・借用し、鶴松館や商家資料館等を利用して展示する。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	【新規】企画展 「生誕 450 年記念 島津豊久展」	戦国時代の佐土原城主「島津豊久」の生誕 450 年を記念し、その生涯について紹介・展示する。同時に漫画ドリフターズの原画展も行う。	4 月 2 9 日 (水) ～ 6 月 1 4 日 (日)

2 体験学習事業

昔の人々の暮らしと関連した製作体験学習等を親子や一般参加者を対象に実施する。

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	実施時期
1	わくわくどきどき 茶道体験	茶道流派指導者のもと、伝統的な茶道を体験する。	1 回	子どもと保護者・一般 20 人	5 月 1 7 日 (日)
2	和を楽しむ 生け花 初体験	生け花の指導者のもと、伝統的な生け花を体験する。	1 回	子どもと保護者・一般 20 人	6 月 1 4 日 (日)
3	佐土原城今昔物語	佐土原城周辺の古地図をもとに、散策と佐土原の歴史を学ぶ	1 回	子どもと保護者・一般 20 人	7 月 1 2 日 (日)
4	本格的佐土原人形の 絵付け	佐土原人形「まんじゅう喰い」に代表される本格的絵付けを体験する。	3 回	子どもと保護者・一般 15 人	① 9 月 6 日 (日) ② 10 月 3 日 (土) ③ 12 月 6 日 (日)
5	十三夜、月を愛でる	鶴松館で日本独自の文化である十三夜の月見をする。	1 回	子どもと保護者・一般 30 人	10 月 2 9 日 (木)
6	佐土原の色と形 佐土原人形の絵付け ワークショップ	佐土原人形製作者の指導で、絵付けを体験する。	1 回	子どもと保護者・一般 20 人	11 月 8 日 (日)
7	大人の社会科見学 佐土原再発見	これまでに佐土原城やその周辺について分かったことを専門家の話を聞きながら学ぶ。	1 回	一般 30 人	11 月 22 日 (日)
8	佐土原の色と形 うずら車絵付け ワークショップ	郷土玩具に伝統工芸士の指導のもと絵付け体験をする。	1 回	子どもと保護者・一般 20 人	2 月 7 日 (日)

3 イベント事業

イベント名	内 容	実施時期
佐土原花しょうぶ祭り	鶴松館裏手にある花しょうぶ園の開花に合わせ、地域づくり協議会に協賛し、花しょうぶ観賞のためのイベントを実施する。	6月 6日（土） ～6月 7日（日）
神代独楽回し大会	佐土原の伝統的工芸品の神代独楽を使い、大人と子どもの部門別に独楽の回っている時間を競う。	1月10日（日）

4 学習支援（施設見学・出前講座・夏休み自由研究）

展示物や資料を活用した授業支援として、総合的な学習の時間及び社会科等、各学校の要望に沿いながら、施設見学や出前講座を実施する。また、夏休み時期に自由研究の資料提供や情報提供を行い、当館のPRを図ることで歴史初心者向けの門戸を広げ、家族連れ入館者の増加を目指したい。

No	学習支援	内 容	実施時期
1	夏休みの自由研究	小学生上学年向けに、3コース程度の郷土資料を本館に準備し、質問等に対応しながら、夏休みの自由研究作成に活用してもらう。	7月上旬 ～8月下旬

5 その他

（1）資料収集・調査研究

古文書史料や文化財等の写真収集・調査研究を行い資料の充実を図る。

（2）宮崎市城の駅（いろは館）・JRとの協働

5月の連休時などには、子ども達をメインにしたイベント等を実施する。また、いろは館とも協力して認知度を高め相乗効果を図る。

（3）広報の充実

ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスを有効活用し、来館者増に努める。また、地域づくり協議会等とも連携をとり広報等に努めていく。

（4）他館との連携

協会の各館事業と積極的な連携・協力を図るとともに、歴史3館での横断的かつ効果的な業務の推進を図る。

【宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館】

1 展示事業

(1) 常設展示

高岡地区の考古・歴史、民俗・民俗芸能に関する資料を展示し、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

高岡地区の歴史・文化に関連する資料を収集、展示する。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	意外と知らない？高岡の先人たち	高木兼寛をはじめとした高岡ゆかりの先人たちを紹介する。	令和3年 3月15日（月） ～4月14日（水）

2 体験学習事業

昔から行われてきた人々の暮らしと関連した制作体験や歴史・美術等の体験学習を親子対象に実施する。（一部一般も対象）

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	実施時期
1	昔懐かしいお菓子づくり	昔から伝わる家庭でできるお菓子をつくる。	1回	小学生と保護者・一般20人	5月17日（日）
2	弓矢づくり	竹を利用して弓矢を作り、的当て遊びをする。	1回	子どもと保護者30人	6月14日（日）
3	水鉄砲づくり	竹で水鉄砲を作って遊ぶ。	1回	子どもと保護者30人	7月19日（日）
4	夏休み図画工作作品を作ろう	図画工作の様々な表現方法を体験し、部屋に飾る作品を作る。	1回	子どもと保護者25人	8月16日（日）
5	高岡歴史かるた史跡めぐり	高岡歴史かるたの題材となった場所を巡る。	1回	子どもと保護者・一般20人	10月18日（日）
6	凧づくり	身近な材料で凧を作って凧揚げをして遊ぶ。	1回	子どもと保護者30人	11月15日（日）
7	ミニ門松づくり	正月にあわせて玄関を飾るミニ門松をつくる。	2回	子どもと保護者・一般40人の2日	12月12日（土） 12月13日（日）
8	二見家かまど炊飯	昔の人々が日常生活で使っていた炊飯道具でご飯を炊く。	1回	小学生と保護者35人	2月14日（日）

3 イベント事業

イベント名	内 容	期 日
高岡歴史かるたで遊ぼう	平成31年3月にできた「高岡歴史かるた」を広く知っていただくとともに、地元高岡の歴史を学び郷土愛につなげる。年5回実施し、4回は練習日とし、最終日はかるた大会を実施する。	7月 5日(日) 9月 6日(日) 10月11日(日) 11月 8日(日) 12月 6日(日)

4 授業支援事業

施設に収蔵している昔の道具を活用し、小学校の社会科における「変わってきた人々の暮らし」の授業の支援として各学校に出向き、学習の充実に資する。また、宮崎市教育委員会主催の施設学習支援事業や遠足等を活用した施設利用により来館した小学校に対し、授業の支援を行う。

5 その他

(1) 資料収集・調査研究

古文書史料や文化財の写真収集・調査研究を行い、資料の充実を図る。

(2) 年間広報紙の配布

当館の事業紹介・講座参加者募集などを行うため、高岡地区自治会あての回覧紙として、年1回3月に、翌年度の事業を紹介する「天ヶ城だより」を配布する。

(3) 広報の充実

ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスを有効活用し、来館者増に努める。

(4) 他館との連携

協会の各館事業と積極的な連携・協力を図るとともに、歴史3館での横断的かつ効果的な業務の推進を図る。

令和2年度 大淀川学習館 事業計画書

基本方針

大淀川学習館は、宮崎市制70周年記念事業として、次世代を担う子どもたちに、「自然を大切にする心」と「郷土愛」を育むために開設された施設であり、平成7年3月の開館以来、施設・設備のアドバンテージを最大限に活かす管理運営に努めてきた。

特に近年は、幼児や小学校低学年による低年齢層の利用が最も多い一方で、障がいのある方や高齢の方による利用も増えていることから、利用者の多様なニーズを踏まえた、満足度の高い管理運営が、より一層求められている。

今後も、より多くの方々に愛され、活用される施設となるよう、以下の3つの運営方針のもと、継続的・発展的な管理運営を行う。

〈基本方針1〉 身近な素材を見て・触れて・体験しながら、次世代を担う子どもたちを中心に、全ての世代が「自然を大切にする心」と「郷土愛」を育むため、楽しく学ぶ機会を提供する。

〈基本方針2〉 関係する機関や団体と連携・協働し、広く市民に開かれた施設として、生涯学習、郷土学習、環境学習の場として、地域づくりに貢献する。

〈基本方針3〉 主に自然を扱った地域密着型の魅力ある事業を展開するため、職員が創意工夫を凝らし、教育的効果と費用対効果のバランスがとれた施設運営を行う。

事業概要

1 常設展示事業

「観察ステーション」では、企画展や季節に合わせた生体や標本等を展示し、「自然楽習園(チョウのへや)」等を活用して、飼育・採捕生体の展示を行う。また、「里山の楽校」等では、自然環境を再現した展示スペースと学習フィールドとして二面性を持たせる維持管理を行う。さらに、週間スケジュールにより、「川のシアター」等の展示解説を実施する。

2 企画展・作品展示事業

自然環境及び生物に関することを中心に、当館の設立趣旨を具現化する8つの企画展を行う。また、「大淀川流域の動植物画コンクール」を開催し、応募作品の展示を行うとともに、「愛鳥週間」等の外部コンクールの作品展示も行う。

3 学校教育・生涯学習支援事業

小中学校や学童保育施設、自治会等の要請に応じて、出前講座や見学プログラム等による支援を行う。また、就学前教育への支援の一環として計20回の園児教室を実施する。さらに、学校教育に対しては、授業力向上講座の開催や資料の貸出等による指導者支援も行う。

4 教室・イベント事業

「環境教室」「飼育・観察教室」「活動教室」「ものづくり教室」の4分野に分けて講座を開設する。また、工作を中心とした定期イベント「わくわく工作」、及び、講演会を含む6つのイベントを開催する。

5 広報事業

ポスターやチラシ、ホームページ、SNSを活用して、生体情報の発信や各種事業の宣伝等を行う。また、広報誌やマスメディア等への情報提供も行う。

6 自主事業

飲食等に対する来館者のニーズに応えるため、3つの自主事業を行う。

1 常設展示事業

(1) 生体等の展示

大淀川流域の多様で豊かな自然環境についての理解を促すため、大淀川流域に生息する昆虫や水生生物等の生体展示を行う。加えて、職員の専門性向上に努め、展示生体の多様性を維持する。

No.	展示スペース	内 容
1	観察ステーション	観察ステーションを中心に、来館者が常に新鮮な気持ちで館内見学を行うため、企画展や季節に応じて定期的な展示入れ替えや装飾を行う。また、来館者が気持ちよく見学をすることができるように、観察機器のメンテナンスや施設内の壁面等を活用した解説の充実に努める。さらに、学校教育への支援の一環として、学習指導要領との関連をふまえた展示の工夫も行う。
2	自然楽習園 (チョウのへや)	チョウの生態や特徴について、来館者が興味をもったり、知識を深めたりするため、主として学習館周辺を生息域とするチョウを、外気温に合わせた自然に近い状態で放蝶している。四季に応じたチョウの生態を観察することができる国内でも稀有な施設として、維持管理に努める。また、学校教育支援の一環として行う「チョウのプログラム」のフィールドとしても活用する。
3	生体展示ホール (サカナのへや)	大淀川流域の水生生物に対して、来館者が興味をもったり、知識を深めたりするために、大型水槽では、大淀川水系に生息する淡水魚を上流域、中流域、河口域ごとに展示し、円型水槽では、大淀川が流れ着く日向灘に生息している水生生物を展示している。小型水槽では、小型の淡水魚やカメなどを、個別に観察しやすいように展示している。また、絶滅危惧種アカメの飼育技術確立に努めている。
4	ホタル展示室 (ホタルのへや)	来館者が、環境保全のシンボリック存在であるホタルの生態に興味をもち、環境保全に対する意識を啓発するために、ビオトープ水槽を活用して、季節に応じたホタルの展示を行っている。市環境保全課等と連携して、飼育技術について改善を進めている。

(2) 自然環境を再現した展示（学習フィールド）

生き物が生息する環境への理解促進と興味喚起のため、本館周辺の施設を維持管理し、活用を図る。

No.	学習フィールド名	内 容
1	里山の楽校 (杉の家)	大淀川流域の自然や文化を育んできた里山を再現した学習フィールド「里山の楽校」の維持管理に努め、体験学習のフィールドや展示生体のための昆虫・植物採集の場として活用する。 また、付設の「杉の家」では、固定望遠鏡や地形を観察できる模型の設置、里山の動植物に関する展示等を行う。
2	大淀川 水辺の楽校	親水公園としての機能ももつ「大淀川水辺の楽校」については、所管の宮崎市公園緑地課と連携・情報交換を行いながら、活用、維持管理に努め、利用者が水辺の環境に親しむ場を提供する。 また、体験学習のフィールドや展示生体のための昆虫・植物採集の場としても活用する。

(3) 展示解説

見て・触れて・体験しながら、自然環境に対する興味関心を高めたり、知的好奇心を満たしたりすることができるように、大淀川流域の自然や文化、歴史等についての展示を解説する。加えて、週間スケジュールに基づいて、既設設備や職員の専門性を活かした効果的な展示解説を工夫する。

No.	展示名	内 容		実施時期
1	川のシアター	定時一般上映	平日は3回、土日及び祝日は4回、定時に大淀川流域の自然に関するオリジナルの3Dハイビジョン番組の上映を行う。	通年
		団体上映	利用団体の学習ニーズに応じて、団体代表者と相談して番組を選択し、特別に上映する。	随時
		臨時上映	夏季休業中は、増加する来館者の要望に応え、当館の利用促進を図るために、平日も毎日4回上映する。	夏季休業期間
2	ミニ講座	来館者が知的好奇心を満たすことができるように、企画展の内容や季節に応じた動植物について、職員が解説を行う。職員の専門性を生かすことで講座の充実に努める。		通年 【週5回以上】
3	さかなたちの食事タイム	来館者が河川の特徴や魚の生態に関する興味や関心を高めるため、大型水槽の魚が餌を食べる様子を公開する。命のある生き物を観察していることを実感できるように季節や魚の体調に応じた解説に努める。		通年 【週2回】
4	いきものとのふれあい&よみきかせ(絵本の読み聞かせ音楽会)	幼い子どもが生き物と出会い、自然環境に興味・関心を抱くきっかけをつくるため、図書室にある絵本を読み聞かせし、絵本と関連した生体を見たり、触れたりする体験活動を取り入れた解説を行う。 また、お話に替えて音楽を取り入れた生き物や自然に関する読み聞かせを不定期で開催する。		通年 【月1回】

2 企画展・作品展示事業

(1) 企画展

大淀川流域の自然環境や歴史、文化について、興味・関心を高めるため、当館の基本方針に沿った企画展を開催する。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	「水の生き物と仲良くなろう！ザリガニ展」	来館者が、身近な生物と触れ合うよさを感じたり、在来種と外来種の関係について学んだりするために、アメリカザリガニ釣りを体験できるタッチプールやパネル展示を行う。	4月28日(火) ～ 6月7日(日)
2	「カラー魚拓への誘い」	サカナの特徴について関心をもち、自然がもたらす造形美を実感するために、館内各所へカラー魚拓の展示を行う。	6月16日(火) ～ 7月12日(日)

3	「森の生き物と仲良くなろう！カブトムシ・クワガタムシ展」	子どもたちが昆虫に興味を抱き、自然科学を学ぶきっかけをつくるため、タッチプールでのふれあいやパネル展示等を行う。大淀川流域に生息する国内種と外国種を比べることができるように、生体や標本の展示を行う。	7月18日（土） ～ 8月30日（日）
4	「よく見てみよう！ちょっぴりこわい生き物展」	生命の存在価値や命の尊さについて考える契機とするため、一般的に嫌悪されたり、怖がられたりする生物の生体展示やパネル展示を行う。	9月19日（土） ～ 10月31日（土）
5	「身近な生き物と仲良くなろう！金魚・メダカ・カメ展」	来館者が、身近な生物と触れ合うよさを感じたり、人と動植物のつながりについて考えたりするために、家庭でも比較的簡単に飼育できる金魚やメダカ、カメ等について生体展示やパネル展示を行う。	11月5日（木） ～ 12月6日（日）
6	「県産材積み木で遊ぼう！」	大淀川の恵みを育む森林や樹木に慣れ親しみ、宮崎の豊かな自然に気づく機会を設けるために、宮崎県産材を使った積み木約二万個で、自由に作品づくりができる企画を行う。	1月5日（火） ～ 3月21日（日）
7	「変身しよう！みんなの寝ころびアート展」	乳幼児期から親子で自然に親しむきっかけをつくることや、SNSの普及によるフォトスポット需要が高まっていることを受け、自然を感じつつ、写真撮影を通した文化活動にも触れることができる機会を提供する。	1月9日（土） ～ 2月11日（木）
8	「春一番！ひな山展」	大淀川流域の綾町で育まれた「ひな山」文化を知り、大淀川流域の民俗文化に対する関心を高めるために、エントランスホールへ、実際のひな山を展示する。	2月4日（木） ～ 3月3日（水）

（２）作品展示

大淀川流域の豊かな自然を再評価する中で、郷土に対する愛情を育み、市民が文化的活動に勤しむ機会を提供するために、作品展を主催する。また、県や市が主催するコンクールの入賞作品展についての展示依頼は、積極的に受け入れる。

No.	作品展名	内 容	実施時期
1	作品展 「第25回大淀川流域の動植物画コンクール」	動植物を観察する視点を育み、観察フィールドで、直に自然と触れ合う機会をつくるため、大淀川流域に生息する動植物の精密画を募集し、入賞作品を展示する。	10月6日（火） ～ 11月11日（水）

3 学校教育・生涯学習支援事業

（１）出前講座・見学プログラム

小中学校や学童保育、自治会等からの要請に応じて、出前講座や見学プログラムを設定する。講座やプログラムの内容は、下記の主な見学プログラム以外に、事前打合せによって要望に応える内容を設定する。

No.	主な見学プログラム名	内 容
1	チョウの見学プログラム (学習室・自然楽習園)	小学校3年生「理科」の学習内容に基づき、職員による解説と、自然楽習園における観察を行う。
2	地層の見学プログラム (里山の楽校)	小学校6年生「理科」の学習内容に基づき、職員による解説と、実際の地層の見学や装置を用いた堆積実験等を行う。

(2) 園児教室

宮崎市及び国富町・綾町の幼稚園、保育所等の園児を対象に、動植物の観察やふれあい体験、工作活動を通して生き物に対する関心を高める。

(11月～2月の期間に20回開催)

(3) 指導者支援

学校教育における理科離れを食い止めるため、具体的な指導方法や教材の準備の仕方等について、小中学生に指導する者へ、職員の経験と専門性を活かした支援を行う。また、必要に応じて資料提供も行う。

No.	講座名	内 容	定員	実施時期
1	授業力向上 チョウ講座 (実験・工作室)	チョウの生態や育て方など、指導に使える情報や素材を提供する。	30人	4月16日(木) 5月8日(金)
2	授業力向上 メダカ講座 (実験・工作室)	メダカの生態や育て方など、指導に使える情報や素材を提供する。	15人	5月29日(金)

(4) その他の支援

キャリア教育を支援する一環として、中等教育における職場体験学習や、高等教育におけるインターンシップ、博物館実習等も積極的に受け入れる。さらに、行政機関における環境部局等から要請があった際には、共催企画を積極的に受け入れる。

4 教室・イベント事業

(1) 環境教室

大淀川流域の自然環境保護や水質保全について興味をもち、理解を促すため、観察や調査、見学等を行う。

No.	教室名(開催場所)	内 容	定員	実施時期
1	ホタル環境教室 (実験・工作室)	実際にホタルの成虫を観察することを通して、ホタルの生態を理解する。	40人	5月16日(土)
2	川の生き物で 水質環境調査(初夏) (水辺の楽校)	初夏の水生生物を指標とする水質調査を通して、大淀川の水質に対する理解を深める。	5組	5月24日(日)
3	自由研究にぴったり！ 下水処理場見学会 (上下水道局施設)	宮崎市上下水道局と連携し、関連施設を見学することを通して、水の大切さを理解する。	20組	7月30日(木)

4	川の生き物で 水質環境調査(盛夏) (水辺の楽校)	盛夏の水生生物を指標とする 水質調査を通して、大淀川の水 質に対する理解を深める。	5組	7月 26日(日)
5	川の生き物で 水質環境調査(春) (水辺の楽校)	春の水生生物を指標とする水 質調査を通して、大淀川の水質 に対する理解を深める。	5組	3月 14日(日)

(2) 飼育・観察教室

大淀川流域の動植物について知ること、動植物の飼育や観察に対する興味・関心を高めるために、生体の観察や生息環境の見学、飼育方法の講話等を行う。

No.	教室名(開催場所)	内 容	定員	実施時期
1	メダカの 飼育・観察教室 (実験・工作室)	メダカの飼育の仕方を学習し、 生体の観察を通して、身近な魚へ の興味・関心を高める。	各10組	5月30日(土) 9月20日(日) 3月7日(日)
2	目指せ！ ムシはかせ (水辺の楽校)	水辺の楽校等において採集した 昆虫の同定作業を通して、昆虫 採集や飼育、観察への興味・関心 を高める。	各5組	4月26日(日) 3月6日(土)
3	目指せ！ ムシはかせ(夜間) (里山の楽校)	里山の楽校等において、ライト トラップに集まった昆虫を観察 することを通して、昆虫観察への 興味・関心を高める。	各5組	5月30日(土) 6月20日(土) 7月18日(土) 8月29日(土) 9月19日(土) 10月10日(土)
4	カブトムシ・ クワガタムシの 飼育・観察教室 (実験・工作室)	カブトムシ・クワガタムシの飼 育の仕方を学習し、その生態を観 察することを通して、身近な昆虫 への興味・関心を高める。	10組	6月21日(日) 7月4日(土) 10月4日(日)

(3) 活動教室

大淀川流域の自然環境に親しんだり、動植物の生態や特徴を体験的に理解したりするために、大淀川での体験活動や大淀川流域の自然素材を活用した活動を行う。

No.	教室名(開催場所)	内 容	定員	実施時期
1	アユの稚魚を 放流しよう！ (柳瀬橋下河原)	アユの稚魚を大淀川に放流する 体験を通して、大淀川の魚や環境に 親しむ。	20組	5月10日(日)
2	ハーブティーを 楽しもう！ (杉の家)	ハーブの育て方や楽しみ方を体 験して、植物の利用方法や効用につ いて理解する。	20人	10月18日(日)
3	シイタケの種駒 打ちをしよう！ (里山の楽校)	シイタケの種駒打ちを体験して、 里山やキノコに対する理解を深め る。	20組	2月28日(日)
4	食べられる野草を探し てみよう！ (水辺の楽校)	水辺の楽校にある食用、薬効のあ る植物を採集することを通して、身 近な野草に親しむ。	20組	3月21日(日)

(4) ものづくり教室

身近な自然を保護する方法や、動植物を記録する方法、自然の恵みを生活に活かす方法について、実体験を通して知るために、大淀川流域の自然素材に親しみながらものづくり活動を行う。

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
1	昆虫標本を 作ろう！ （実験・工作室）	身近にいる昆虫を使った標本を作ることを通して、昆虫を記録する方法について知る。	10組	6月28日（日）
2	植物標本を 作ろう！ （実験・工作室）	標本作製の講義と演習を通して、身近な植物を記録する方法について知る。	10組	7月19日（日）
3	野鳥の巣箱を 作ろう！ （実験・工作室）	野鳥の巣箱を作ることを通して、野鳥の生態や森林保護の必要性を知る。	10組	11月8日（日）
4	ミツロウでオリジナル キャンドルを作ろう！ （実験・工作室）	ミツバチの巣から採ったミツロウを用いて、自分だけのオリジナルキャンドルを作ることで、自然の恵みを有効に活用する方法を知る。	10組	12月13日（日）
5	カラー魚拓を 制作しよう！ （実験・工作室）	カラー魚拓を制作することを通して、魚の体のつくりなどを観察し、大淀川にすむ魚に親しむ。	10人	カラー魚拓展 開催期間中

(6) わくわく工作

大淀川流域の自然や文化を理解し、参加者の文化的活動を促進する機会を設けるために、四季の移ろいや大淀川流域の自然・文化をテーマに設定して、家族で楽しみながら創作を行うイベントを、毎月第2・4土曜日の午前と午後に開催する。（他事業との日程調整において一部実施日が変更になるものもある。）

(7) 季節のイベント

大淀川学習館の利用を促進することで、家族で大淀川流域の自然について学んだり、環境に対して関心を寄せたりする機会を増やすために、楽しみながら季節を感じることができるイベントを開催する。

	イベント名	内 容	対象・定員	実施時期
春	カブトムシの 幼虫を育てよう！ （宮崎科学技術館 連携事業）	前日に宮崎科学技術館で配布したチケットを持参した来館者へ、カブトムシの幼虫を贈呈する。	宮崎科学技術館来館者	5月6日（水・祝）
夏	カブトムシの 木登り大会 （レクチャー室）	飼育しているカブトムシを持ち寄り、木登りを楽しむ。	先着事前 申込 100人	8月1日（土） 予備日 8/8（土）
夏	クワガタムシの すもう大会 （レクチャー室）	飼育しているクワガタムシを持ち寄り、すもうを楽しむ。	先着事前 申込 100人	8月2日（日） 予備日 8/9（日）

秋	河川や動植物等 に関する講演会 (レクチャー室)	当館のネットワークを生かし、河川や動植物に関する専門 家等を招聘し、講演会を行う。	先着 100 人	期日未定
冬	ふれあいもちつき大会 (本館池周辺)	古来より正月を迎える準備 として行われてきた、日本の伝 統文化であるもちつきを楽し む。	全来館者 なくなり次第	12 月 19 日(土)
冬	クリスマスコンサート in 大淀川学習館	周辺中学校の音楽系部活動 と連携し、生き物の話等を交え たコンサートを行う。	先着 200 人	12 月 20 日(日)
冬	積み木でドミノにチャ レンジ!	積み木展連動企画として、カ ラカラ積み木を用いたドミノ の距離を競う大会を開催する。	先着 50 人	期日未定 (2 回開催予定)

(8) 教室・イベント事業共通事項

(1)～(7)の教室やイベントを計画するに当たっては、関係行政機関や専門家、協会内の他館等との連携に努める。

5 広報事業

(1) 情報の発信及び提供

大淀川学習館の活動内容を周知し、主催事業への参加や見学に対する意欲を喚起するために、情報発信の工夫を行う。また、事業案内や調査研究の成果については、積極的な情報提供を行う。

No.	広報活動名	手 段
1	年間行事 カレンダー	小中学校を対象に、校外学習での活用や休日の家族利用を促進するため、紙媒体による広報を行う。
2	月行事案内 企画展案内	福祉施設の利用促進や社会教育施設間の回遊性を高めるために、月行事や企画展の案内チラシとポスターを配布する。
3	ホームページ	ニーズに応じた情報提供を行うために、インフォメーションと学習機能を兼ね備えたホームページを開設する。
4	ソーシャルネットワ ーキングサービス	公開する情報の即時性を高めるために、ブログやフェイスブックなどの常時更新に努める。
5	掲示板・案内板	来館時に情報を得ることができるようにするため、掲示板や案内看板の活用も図る。
6	マスメディア	展示生体の変化や特徴などについて、広く市民への理解を促し、自然環境への興味を喚起するために、マスメディアへの情報提供に努める。

6 自主事業

(1) 自動販売機等の設置

飲食物の提供や記念品の購入など、利用者のニーズに応じるために、自主事業を行う。

No.	自主事業名	内 容
1	飲料自動販売機	夏場の熱中症対策を含めて、利用者から飲料に対する要望があることから、飲料自動販売機を設置する。
2	カプセル自動販売機	特に観光で訪れた利用者からの要望が強く、記念品として企画展や展示生体と関連のあるカプセルトイの自動販売機を設置する。
3	移動販売車	施設周辺に商店や飲食店が少ないため、利用者から昼食や間食に適した軽食への要望が強く、宮崎フードイベントサポート協会の協力を得て、土日祝日及び小中学校の長期休業期間に移動販売車を招聘する。

令和２年度宮崎市民プラザ事業計画書

１．管理運営について

指定管理期間の２年目を迎え、指定管理者指定申請時の事業計画を着実に履行するとともに、管理運営にあたっては、地方自治法や宮崎市民プラザ条例をはじめとする関係法令、平成３０年度からスタートした第五次宮崎市総合計画や第二次宮崎市教育ビジョン、第三次宮崎市文化振興計画などとの整合を図ります。また、市との密接な連携のもと、施設の設置目的に沿った管理運営と事業の充実に努め、次のとおり本施設運営のための基本方針を定めます。

基本方針１：公平・公正な管理運営

宮崎市民プラザ条例及び同条例施行規則等を遵守の上、当協会の責任と判断により、特定の個人や団体に対して有利あるいは不利になるような取り扱いをせず、偏りのない平等で適正な管理運営に努めます。

基本方針２：満足度の高い管理運営

市民や施設利用者の意見・要望等を管理運営に反映させるとともに、施設利用者には利用者目線でアドバイスやサポートを行うことで、満足度の高い管理運営に努めます。また、定期的な接遇研修の実施により利用者に対する接遇能力を高め、利用者の満足度向上に繋がります。

基本方針３：安心・安全で効率的な管理運営

非常時に備えた定期的な防災訓練や研修を踏まえ、施設内の巡回や設備の日常点検、利用者に注意を促す掲示等により未然防止を図ります。更に、万一の災害時・緊急時には、危機管理体制に基づき、その対応に万全を期し、利用者の安全確保を図ります。また、業務等の効率化を積極的に行うことで、無駄のない管理運営に努めます。

２．文化芸術企画事業について

市民プラザ条例における設置目的や文化芸術基本法、劇場法、第三次宮崎市文化振興計画などの国・自治体の文化行政の理念及びその方向性、更には地域の文化芸術資源などを反映させ、独創性の高い事業を企画・実施し、市民文化活動及び文化芸術の振興に寄与します。特に、第三次宮崎市文化振興計画において、重点プロジェクトに位置付けられている「若い世代へのアプローチ」と「文化芸術活動支援環境の整備」を柱に、次のとおり取組方針を定めます。

取組方針１：市民文化の振興

子どもから高齢者まで、幅広い世代にわたる市民に対して、気軽に文化芸術を鑑賞・体験できる機会を提供し、市民文化の振興を図ります。

取組方針２：若い世代へのアプローチ

子どもや青少年などの若い世代に対して、インターネットやSNS等を活用して文化芸術の魅力を発信するとともに、文化芸術を鑑賞・参加・創造する機会を提供し、興味関心を高めるためのアプローチを図ります。

取組方針３：文化芸術活動への支援

音楽や演劇、舞踊、伝統芸能等の市民の幅広い文化芸術活動については、一定条件のもと当協会と文化芸術団体等が共催し、施設使用料等免除のほか、ノウハウ等の提供や助言、広報及びチケット販売協力などにより支援します。

３．自主事業について

市民プラザが開館して２０周年を迎えることから、これまで市民プラザを支えていただいた市民の皆様には感謝を込めて、過去の公演で好評であったり再演を望む声のあった３事業を、開館２０周年記念事業として実施します。

４．事業の概要及び実施時期について

No	事業名	内容	実施時期
取組方針１：市民文化の振興			
1	第１４回市民プラザコンサート 【創造・参加型事業】	市民参画による実行委員会が企画運営し、宮崎に縁のある演奏家やアーティスト等を出演者に起用するテーマコンサート。	８月２９日（土）
取組方針２：若い世代へのアプローチ			
2	【新規】 演劇公演「群青」 【創造・参加型事業】	宮崎出身の脚本・演出家で俳優の本田誠人さん（劇団ペテカン所属）が、オリジナル脚本を書き下ろし、主要キャストに宮崎県内の高校生を起用する演劇公演。	１２月１２日（土） １３日（日）
3	夏休み！バックステージ体験 【普及・育成型事業】	小学生親子を対象とした、舞台機構や音響、照明設備等をツアー形式で見学・体験してもらうオルブライトホール舞台裏体験。	７月２３日（木・祝）

4	桂 歌春の落語教室 【普及・育成型事業】	宮崎出身で落語家の桂 歌春さんと宮崎の小学生が交流する機会を創出し、古典芸能の落語を身近に感じてもらう落語アウトリーチ事業。	※未定
5	子どものための文化芸術体験プログラム 【普及・育成型事業】	子どもたちの文化芸術に対する関心を高めるとともに、心豊かな感性を育むため、演奏家や文化芸術団体等を小学校等へ派遣するアウトリーチ事業。	※未定
取組方針 3：文化芸術活動への支援			
6	土田浩とみやざきのチェリストたち～藤森亮一氏を迎えて～ 【共催事業】 主催：みやざきチェロ協会	宮崎出身や在住者のチェリストが出演するチェロのソロやアンサンブルの演奏会。特別ゲストに、NHK交響楽団首席チェロ奏者の藤森亮一氏を迎える。	7月5日（日）
自主事業：市民プラザ開館20周年記念事業			
7	【新規】 市民プラザ開館20周年記念 オーケストラ・リクエストコンサート	市民から募集したリクエスト曲を、ゲストアーティストと宮崎のオーケストラ（管弦楽団）で演奏するコンサート。	2月
8	【新規】 市民プラザ開館20周年記念 松本紀生アラスカ・フォトライブ	写真家の松本紀生さんによる、大自然の写真と野生動物の貴重な生態を捉えたエンターテインメントスライドショー。プレイベントとして企画展・写真コンテストも計画。	12月19日（土） 20日（日）
9	【拡充】 市民プラザ開館20周年記念 市民プラザ寄席	宮崎出身で落語家の桂歌春さんがプロデュースする寄席。複数の著名な落語家等を迎え、例年より拡充した特別公演として開催。	11月23日（月・祝）

令和2年度公益財団法人宮崎文化振興協会事務局

事業計画書

基本方針

1 法人組織の円滑な運営

公益財団法人の円滑な運営のため、法や制度改正などを適切に処理し、評議員会・理事会などの法人組織の運営と関係機関・団体との連携及び調整に取り組む。

2 指定管理業務の円滑な推進

宮崎科学技術館、宮崎市歴史資料館（宮崎市生目の杜遊古館、佐土原歴史資料館、天ヶ城歴史民俗資料館）、大淀川学習館、宮崎市民プラザの6施設の指定管理業務の円滑な推進のため、経営会議などを通して、市並びに各施設との密な連絡調整を図る。

3 円滑な人事管理

採用、異動、給与、福利厚生、研修など協会職員の人事管理を円滑に行う。特に職員の健康管理への対応並びに資質向上のための研修に取り組む。

4 協会の目的達成のために必要な事業の推進

協会の目的達成のため、機関誌発行、協会モニター、子どものための音楽会など協会全体として行うことが効果的な事業の推進に努める。

事業概要

1 法人の管理運営事業

協会組織の円滑な運営のため、定例評議員会（6月）、定例理事会（6・3月）のほか、必要に応じて臨時会を開催する。

指定管理業務の円滑な運営のため、市並びに各施設と密な連絡調整を行う。

法人の総務・人事・財政に係る業務を適正に行う。

2 研修事業

職員の資質向上と能力開発のため、管理職研修や係長研修など階層別研修や、接遇研修、広報研修などテーマ別研修に取り組む。

3 健康管理事業

職員の健康管理のため、産業医による健康相談、健康をテーマとした講演会などを行う。

4 その他

協会全体として行うことが効果的な事業を行う。

経営戦略課主導事業

事業名	内 容	実施時期
【新規】 宮崎文化振興協会 主催文化講演会	当協会が管理運営する施設の専門分野について、市民の興味関心を深めてもらうこと、また、各施設を横断的に PR する場を設けることを目的に、協会事務局主催の講演会を開催する。	未定
機関誌「まなぶん か」発行事業	イベント開催情報の掲載だけではなく、科学・歴史・自然・文化・教育等の視点によるトピックスや催事内容を利用者に詳しく紹介する協会機関誌を刊行することで、施設利用者増へ繋げる。 県内小中学校や県内市町村教育委員会、公民館等に加え、市内小児科医院・県内図書館・博物館・公立文化施設にも配布する。	年 4 回
協会モニター事業	施設利用者の意見を施設運営や事業に反映させることを目的に、協会モニターを公募し、各施設のモニタリングや意見交換会（年 2 回）を実施する。	通 年
子どものための 音楽会事業	乳幼児とその保護者に生の音楽を身近に感じてもらうことを目的に、各施設において乳幼児とその保護者を対象としたコンサートを実施する。各施設年 1 回の実施。	5 月～ 3 月 （計 6 回）
1 日こども館長 事業	科学・自然・歴史・文化に興味関心をもち、将来の職業選択のきっかけづくりを行なうことを目的に、各施設において小学生を対象とした職場体験を実施する。	8 月～ 1 月 （計 4 回）
教育施設としての 施設利用推進事業	小中学校の学習指導要領と各施設の展示物を関連付けた学校利用ガイドブックと施設利用ガイドポスターを活用した「授業支援プログラム」の周知を図る。 また、学習指導要領の改定・実施にあわせて学校利用ガイドブック改訂をするための調査研究を行う。	通 年
学術・科学技術・ 文化・芸術振興の ための研究事業	職員が日常業務の中で課題を見つけて、研究テーマを設定し、年間を通して課題解決に向けた研究を行うことで、職員の能力開発、資質向上を図る。 研究成果については、協会内で研究発表会を実施するとともに、研究報告書としてまとめ、関係機関等に配付する。次年度以降の業務改善につなげるとともに、協会の定款に定められた学術及び科学技術、文化及び芸術の振興に寄与する。	通 年